



今年6月19日、文化庁より本市が関わる2ストーリーが令和2年度「日本遺産」で追加認定されました。この追加認定により、泉佐野市は地域型1つと、シリアル型2つの合計3つの日本遺産があるまちになりました。市内に「3つの日本遺産があるまち」として、色々な手法を通じて、幅広く日本遺産のPRに努めてまいります。

問合せ先 文化財保護課 (☎447-6766)

# 3つの日本遺産があるまち

## いずみさの

令和元年度  
認定!

①旅引付と一枚の絵図が伝えるまち

—中世日根荘の風景—



日本遺産

### 日根荘

うすは39ページ)

また、塚地武雅さん（ドラングドラゴン）や国木田かつばさん、その他声優のみなさんにご出演いただいた日根荘のPR動画を、来年1月中に下記の特設サイトで公開予定です。

その他、日根荘を題材としたマンガ本製作や、日根荘の周遊ARアプリも公開を予定しています。

※詳しい内容は下記の日本遺産「日根荘」の特設ホームページで発信しますので、ぜひご覧ください。

昨年5月20日に日本遺産に認定された日根荘について、現在さまざまなPR事業を展開しています。まず、市内の小・中・高校生を対象とした「衣通姫イラストコンテスト」を開催し、10月に泉の森ギャラリーで展示が行われました。（表彰式のよ

#### 日本遺産「日根荘」特設サイト

日本遺産のストーリーや構成文化財などを紹介したホームページを作成しました。また、様々なイベントや情報も発信しています。

アドレス <http://hinenosho.jp>  
(左のQRコードからもアクセス可)





◀ 諸国家業じまん (江戸時代)



▲ 食野家邸宅跡の碑

【ストーリー概要】  
 日本海や瀬戸内海沿岸には、山を風景の一部に取り込む港町が点々とみられます。そこには、港に通じる小路が随所に走り、通りには広大な商家や豪壮な船主屋敷が建っています。また、社寺には奉納された船の絵馬や模型が残り、京など遠方に起源がある祭礼が行われ、節回しの似た民謡が唄われています。  
 これらの港町は、荒波を越え、動く総合商社として巨万の富を生み、各地に繁栄をもたらした北前船の寄港地・船主集落で、時を重ねて彩られた異空間として今も人々を惹きつけてやみません。

認定された本市の主な文化財：食野家邸宅跡

令和2年度認定!

② 荒波を越えた男たちの夢が紡いだ異空間

北前船寄港地・船主集落



②と③の2つのストーリーは、複数の市町村にまたがってストーリーが展開する「シリアル型」の日本遺産で、今年6月19日の認定で本市が2つのストーリーに追加されました。シリアル型の認定により、全国的なPRの展開が期待されます。

【ストーリー概要】  
 和歌山〜大阪〜奈良の境に聳える葛城の峰々。修験道の開祖と言われる役行者（えんのぎょうじゃ）がはじめて修行を積んだこの地は、世界遺産の吉野・大峯と並ぶ「修験の二大聖地」と称されています。この地には、役行者が法華経を1品ずつ埋納したという28の経塚があり、今も修験者たちは、その経塚や縁の寺社、滝や巨石を巡ります。そしてその修行にはいつの時代も、この地に暮らす人々との深いつながりがありました。

修験者や地域の人々が大切にしてきた聖地「葛城修験」——修験道の歴史は、ここから始まりました。

認定された本市の主な文化財

…七宝瀧寺



▲ 構成文化財の七宝瀧寺「行者の滝」

令和2年度認定!

③ 「葛城修験」

里人とともに守り伝える修験道はじまりの地

